芝浦工業大学柏中学校　2027年入試出題傾向

注意点

・従来通りの国語・算数・社会・理科の4教科入試と、4 教科に英語を加えた5教科入試を実施します。
・4 教科入試同様に5教科入試にも定員を設けます。
・英語の筆記試験（45 分・英検3級～英検2級レベル）には基準点を設けます。
・5 教科入試が不合格だった場合、英語の試験を除いた 4 教科の合格基準に達していれば 4 教科で合格とします。
・第1回・第2回は同傾向です。

教科と配点

【第１回・第２回】

国語45分・100点　算数45分・100点　社会40分・75点　理科40分・75点（4教科計350点満点）
・4 教科＋英語 45 分・100 点（5 教科計 450 点満点）

【課題作文試験】

簡易な適性検査型課題作文（人文社会系45分・100点、理数系45分・100点）
面接5分～10分

4 教科（国語・算数・社会・理科）の傾向

・基礎基本を重視した出題で、受験者平均点を60％弱に設定して作問をしています。
・特定教科による足切り点などはありません。合計点で判定します。ただし、平均点が60％弱、ボーダーラインがそれより10％程度高いことが予想されますので、極端な苦手科目があるとボーダーラインに届きにくくなります。

出題傾向

国語（４５分　１００点）　大問３題

1. 漢字　第1回、2回とも問一は今年同様「書き取り」の問題。問二は漢字の成分や成り立ちを意識して学習しておくとよい。加えて、これまで通り、物語的文章または説明的文章の中で一～二題の「書き取り」問題を予定している。
2. 説明的文章　一般書・新書などから出題する。漢字、接続詞、段落、内容理解、本文に対する意見や具体例を考える問題など。漢字も含めて記述式と選択式の解答。要約力、文章構造も問う。文意を丁寧に追っていけば確実に取れる問題である。
3. 物語的文章　ここ数年出題した作家と同傾向で出題。これまで出題した作家であることもあり得る。これまで出題した作家は宮沢賢治、小川未明、坪田譲治、太宰治、有島武郎、芥川龍之介、志賀直哉、井伏鱒二、川端康成、新美南吉など。場面・情景・心情などをていねいに出題する。また、自分で本文から類推する問題、比喩・オノマトペ・慣用句など表現に関する問題も出題する。

※記述式の問題について。指示語の指示内容・接続詞・理由説明・心情説明など、国語のテストでよく目にするもので、字数指定がある、解答の説明文の空欄にあてはまるように書くなどの形式。文章全体を要約するような問題、内容に対しての自分の意見を書くような問題も出題する。字数についてはおおむね例年通り。

算数（４５分　１００点）　大問７題

1. 小問集合（計算問題など）　2.～4. 中問　5.～7. 大問
※ 特定の分野だけを深く勉強するのではなく、広く勉強してほしいので、様々な分野から出題する。
※ 途中の式や考え方を記入する問題を出題している。
※「答に至る理由や考え方そのものを、文章で表現する問題」を出題している。（記述量は 2 行程度）

社会（４０分　７５点）　大問３題

1. 歴史分野[日本の歴史]　2. 地理分野[日本の地理]　3. 公民分野[政治・経済]
※各分野において、グラフ・表・図・地図などの資料から読み取る問題も出題する。
※新聞・テレビなどでよく報道されている内容も出題の対象としている。
※漢字指定で解答する用語問題は、漢字で正しく書かないと不正解となる。
※分野によっては、15～50字程度の説明問題を出題している。ポイントを押さえてわかりやすく説明することが大切である。

理科（４０分　７５点）　大問４題

1. 生物分野　2. 地学分野　3. 化学分野　4. 物理分野
※単なる知識だけではなく、思考力・計算力も問う。簡単な記述問題もある。また、総合的な内容もこれまで通り出題するので、身近な現象・エネルギー・環境などにも関心を持ちながら、各分野バランスよく学習することが求められる。

英語（４５分　１００点）
全問を通じて、実用英語技能検定３級から２級レベルの出題です。

1. リスニング（40点）
二人の会話を聞き、その内容に関する質問に答えます。問題数は14題で、放送は1回です。
短い英文を聞き、その内容に関する質問に答えます。問題数は6題で、放送は1回です。

2. リーディング（40点）
英文を読み、その内容に関する質問に答えます。大問数は2題です。図や表を用いた問題を出題することもあります。

3. ライティング（20点）
問題文に対するあなたの意見とその理由を2つ書く問題です。語数は 50～60 語です。語数、言語面、内容面を基準に採点します。

課題作文（４５分×２種類）

課題作文　人文社会系・・・　45分　全問合計で250～400字程度
　　理数系　・・・　45分　全問合計で200～400字程度
※いずれも簡易な適性検査型課題作文で、文章の他に表・グラフ・図などの資料を参照しながら解答する問題も含まれる。
※面接（5～10分程度）の設問は、日常生活や興味・関心など、とくに事前の対策をしなくても答えられる内容である。

芝浦工業大学柏中学校
2026 年度中学入試分析

国語

・全体を通して

大問構成は一回・二回入試ともに同じように出題しました。大問１は、漢字問題で、ふたつのブロックにわかれています。大問１は説明文、大問３は小説となっています。大問３の小説は、「名作シリーズ」と読んでいますが、比較的古い、名作が出題されており、今年度は第一回が宮沢賢治、第二回では菊池寛が出題されました。

漢字の問題の２題目は、毎年、形声文字に関わる問題、部首や音記号から漢字を推測する問題を出題しています。部首は意味を表し、残りの部分は音を表します。部首の意味そのものは試験では必要としないよう配慮していますが、過去問題を解きながら、漢字の部首の意味を意識して、音記号に合わせて部首を変える練習をするとよいと思います。なお、この問題の形式は前年と同じとは限りませんので、問題文をよく読んで考えましょう。

また、小説・説明文合わせて 140 字程度の記述問題が出題されています。本文に書かれている言葉を単につなぎ合わせるだけでは適切な答案は書けません。本文の内容を自分の言葉で捉えなおして、筆者は何を言おうとしているのかと考えてみる練習が、ふだんから必要となるでしょう。そして、筆者の主張を読みとくだけではなく、その主張についてどのように考えるのか、自分なりの問題意識を持ってほしいと思います。

・差のついた問題について

合格者と不合格者の差がついている問題の傾向としては、①基本的な知識を問う問題、②問題の後半、もしくは小説の問題、③文章の全体を読んでしっかりと言いたいことを理解する問題、④問題の指示をよく読んで、自分の言葉で書く問題であると言えます。

① 第一回入試では、漢字の問２の形声文字の問題が、20%程度の差がつく問題となり、第二回入試では、小説の副詞を答える問題が 20%程度の差がついています。第二回の漢字の問２ではさほど差がついていないことを考えると、前年と形式がやや変わったことで戸惑ってしまったのではないかと思いますが、問題自体はさほど難しくありませんので、問題をしっかり読んで対応することが大切です。次年度以降も意図は同様ですが、まったく同じ形式で出題するとは限りませんので、問題文をしっかり読むようにしましょう。

② 第一回は説明文よりも小説の問題、後半の問題で差がつく傾向にあります。第二回でも小説の方で差がついているように見えますが、だいぶ解消しています。ここから考えると、小説で差がつくのではなく、時間配分の問題で、後半まで手が回らなくなったことによるのかもしれません。第一回の小説の最後の記述問題は、疑問に思ったことをどう調べるかを問う問題ですが、問題で与えられた情報から自分の頭で考えるだけの問題で、比較的簡単です。こうした記述を敬遠したかどうかが合否をわけたように感じます。第二回では反省が生きて時間配分がうまく行った受験生が増えるということのようなので、過去問題を解く時から時間を意識するのがよいでしょう。

③ 第一回の小説では、シグナル、シグナレス、おつきの電柱の位置関係を問う問題を出題しました。実は問１で、「風が強いこと」「風上」「風下」を考える出題をしており、この問では合否の差がつい　ていません。ここで問われたことを使って、位置関係を当てはめるのですが、こうした作業になったとたんに差がついているようです。第一回の説明文の問８の記述も全体をまとめる問題で比較的差がついています。

④ 第二回の説明文の問６では、「学校で学ぶ抽象的な概念を生活の経験に結びつけた例」を挙げる問題です。本文の理解というよりは、自分の頭で考える問題となります。先ほど指摘した第一回の小説の最後の記述も同様ですし、漢字の問２もそういう問題です。第二回の説明文の問７で、別の文章を使った出題でも、その文章をしっかり理解することが求められており、そうした問題で差がついています。

漢字の問２。知識問題や問題文の指示で、答えていく問題。
形式は毎年同じとは限りませんので、問題をよく読んで答えましょう。
答え　A　賀　　B　禍　　C　菓　　D　貨

問二　形声文字は意味を表す部首と音を表す部分でできていると聞いた生徒たちが「カ」と読む音記号について話しています。会話を読み、後に示す音記号を参考にA～Dの傍線部の漢字をを答えなさい。

音記号：加　果　化　咼

A　「この字には、祝うという意味があって、お祝いにつきもののお金の意味を持つ『貝』がついているね。部首が『木』に変わる『十字『カ』の『カ』だね。」

B　「『ネ（しめすへん）』は『示す』で神様や祖先の意味らしいけど、それがつくと『わざわい』という意味の字になるね。『辶（しんにょう）』は『行く』という動きを表すね。たしかに去っていく感じだ。」

C　「『艹（くさかんむり）』は植物を表すから、これがつくがつくと食べ物を表す字になるね。子どもたちが大好きなものだよね。『ネ（ころもへん）』は『衣』を表すけどこの字は『はだか』という意味になるね。なぜだろう。音も『ラ』に変わっちゃうし。」

D　「『貝』がついているこの字はまさに価値のあるものを表しているね。『革』をつけると毎日履くものになるね。」

問八　この物語を読んだBさんは同じような身分違いの恋を描いたシェークスピアの『ロミオとジュリエット』の話を思い浮かべました。この話は敵対する家同士に生まれたロミオとジュリエットが恋に落ちるけれど、家の人に反対されるという内容です。Bさんは、もしかしたら宮沢賢治がこの話を知っていた上で、この物語を書いたのかもしれないと仮説を立てました。調べてみると、岩手の花巻にある宮沢賢治記念館では、宮沢賢治の蔵書が保管されており、そのリストが公開されています。また、宮沢賢治の日記が保管されており、その内容を全部読むことができるとわかりました。

あなたがBさんなら、宮沢賢治が『ロミオとジュリエット』を知っていたかどうかについて、どのように調べますか。30字以内で説明しなさい。

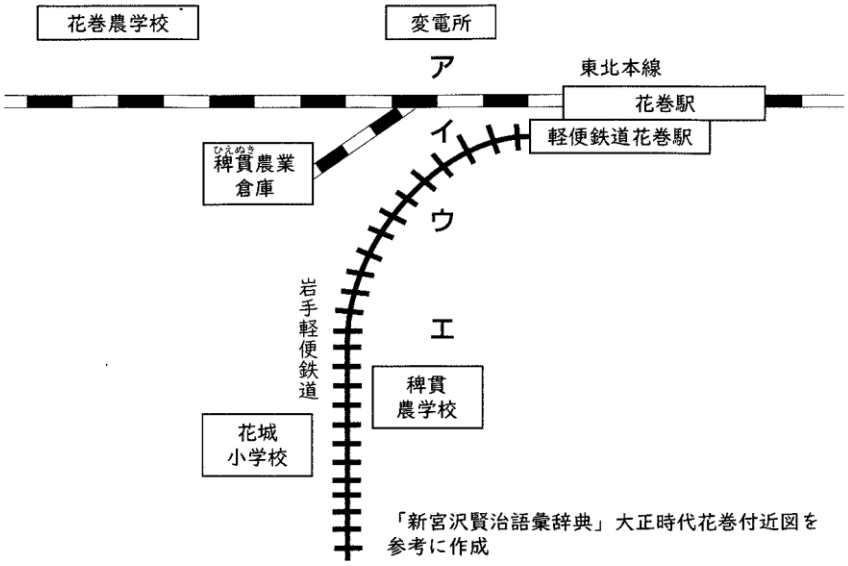
指示にしたがって、自分で考える問題。「蔵書リストに「ロミオとジュリエット」があるか調べる」「日記に「ロミオとジュリエット」を読んだ記録がないか調べる」など、答えは本文とは関係なく、自分で考えるものです。

問六　――部②「学校で学ぶ抽象的な概念を、どれだけ生活の経験に結びつけられるかどうかです」とありますが、学校で学ぶ抽象的な概念を生活の経験に結びつけた例を一つ挙げて30字以上50字以内で説明しなさい。

本文とは比較的関係なく、この傍線部の意味をそのまま、日常生活の例としてあげられればよい。模範解答では、「算数の割合の学習」と「買い物で得をした」ぐらいのことが書ければよいことを示している。

問七　Aくんがこの話を元に、気になったことを調べようとしています。Aくんは、東北本線のシグナルには本線シグナルつきの電信柱がいて、岩手軽便鉄道のシグナレスとは身分が釣り合わない恋であると描かれている点を不思議に思い、東北本線と岩手軽便鉄道が通っている当時の花巻駅の地図を探しました。

（1）①シグナル、②シグナレス、③本線シグナルつきの電信柱の位置を次の地図のア～エよりそれぞれ選び記号で答えなさい。なお、①～③以外のもうひとつの記号は、軽便鉄道の「すてきに耳のいい長い長い電信柱」です。



「新宮沢賢治語彙辞典」大正時代花巻付近図を参考に作成

問１で、シグナルにシグナレスの声が聞こえないのを、風のせいであることを聞いている。話全体として、おつきの電信柱も話の内容がわからないので、それを踏まえて位置関係を決めていく。話全体を想像して、場面が浮かんでいるかを問う問題。

算数

・分野について

出題分野については，速さ，割合，特殊算，図形などバランスよく出題をしています。そのため，苦手分野を作らないようにしましょう。
2026 年度入試に関しては，

・第 1 回、第 2 回ともに平均点は約 60 点でしたが、合格者平均点と不合格者平均点は約 20 点の差がついています。
・ 上記の理由は、不合格者は各問題の(1)を間違えて、(2)(3)と続けて間違えてしまうケースが多く見受けられました。
・第 1 回第 2 問「平面図形」、第 1 回第 5 問「立体図形」、第 2 回第 2 問「平面図形」、第 2 回第 5 問「平面図形」といずれも図形の問題で(1)から大きな差となりました。
・第 1 回第 4 問「割合の問題」、第 7 回「速さの問題」など受験典型問題でも差がついています。
→中学受験参考書にあるような典型問題は確実に解けると有利に働きます。
・ 第 2 回第 3 問のような「規則性のある事象を実際に手を動かして求める問題」で差がついています。
→日頃から規則性を素早く整理して表現する力を養うと良いでしょう。

・解答方法について

算数の解答方法は，「解答のみを答える問題」「解答に至る考え方も含めて答える問題」さらにここ数年は「答えに至る理由や考え方を文章で表現する問題」があります。日頃から自分の考えを式や文章で表現できるように練習しましょう。

・時間配分について

すべての問題に取り組めるようにすると良いでしょう。さらに，合格に近づくためには、

① 大問5，6，7の後半の設問などの難しい問題を1問正解するよりも，少し複雑な計算問題もミスなく丁寧に行うこと
② 大問5，6，7の前半の問題を確実に正解すること

が大切です。

❑ 差のついた問題① 第1回 第6問

6 1辺の長さが1cmの立方体の積み木で作られた立体に，いくつかの面にだけ数字が書かれています。数字が書かれている面すべてに，面と垂直に数字の長さ（単位はcm）だけドリルで小さな穴を空け，穴が空いている積み木の数を数えます。例えば，図1は5個の積み木を重ねた立体で，穴が空いている積み木は4個です。ただし，見えない面に数字は書かれていないものとします。

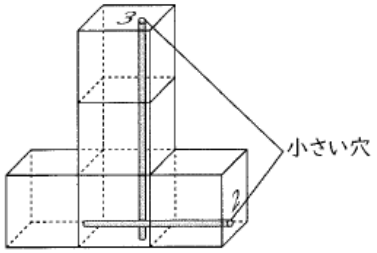


図1

（1） 図2は27個の積み木を重ねた立体です。図2において，数字が書かれている面すべてにドリルで穴を空けます。穴が空いた積み木は何個ですか。

（2） 図3は図2の立体の数字が書かれていない面をそれぞれA～Sとした立体です。このとき，A～Sのどの面に「3」を書き加え，ドリルで穴を空けたら穴の空いた積み木の個数が最も多くなりますか。A～Sの中から1つ選びなさい。また，その理由を答えなさい。

（3） 図4において，「あ」，「い」にそれぞれ1，2，3のいずれかを書き，数字が書かれている面すべてにドリルで穴を空けます。穴が空いた積み木の個数が17個となる「あ」，「い」の組を考えます。
例えば「あ」に2，「い」に2を書いたとき，穴が空いた積み木は17個になり，このとき（あ，い）＝（2，2）と表すこととします。（2，2）以外の（あ，い）の組をすべて答えなさい。

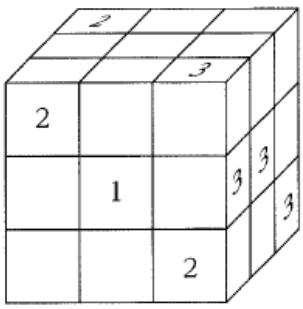


図2

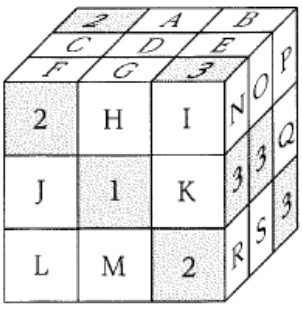


図3

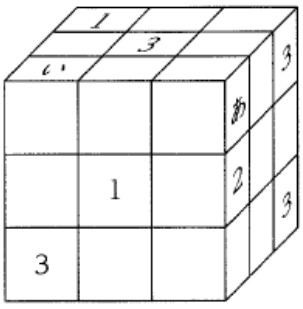


図4

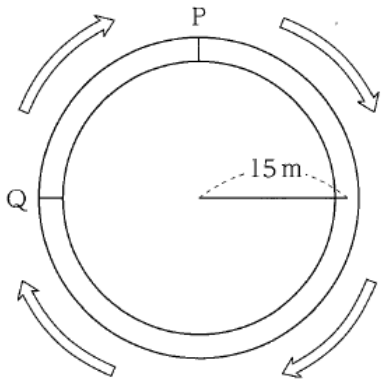
この問題は、設定を初めて見る問題かと思います。まずは，長い文章を読み切る読解力を身に付けましょう。

(1)は上面、正面、側面など数える順番を決めて丁寧に数えましょう。答えは16個となります。

また，(2)は答えに至る理由や考え方を文章で表現する問題です。解答例の一つとして「面：H、理由：Hに3を書くと穴の空いた積み木の合計は3個増える。Hを除くA～Sに3を書いても穴の空いた積み木の合計は2個までしか増えない。よって、Hに3を書くことで穴の空いた積み木の個数は最大となる。」です。日頃から，書いて調べてみたり，それを数学的に考察する習慣を身に付けて下さい。

❑ 差のついた問題② 第2回 第７問

7 （注意：この問題の(2)(3)は，解き方を式や言葉などを使って書きなさい。）



上の図のような，半径15mの円型の流れるプールがあります。図のようにP地点を決め，そこから反時計回りに$\frac{1}{4}$周進んだところをQ地点とします。プールの水は，時計回りにどの場所も同じ速さで流れています。
P地点からこのプールに入り，泳がずに水に浮いていた場合，浮き始めてから３分でちょうど１周してP地点に戻ってきます。
AくんがP地点からこのプールに入り，時計回りに一定の速さで泳いだところ，泳ぎ始めてから１分でちょうど１周してP地点に戻ってきました。
ただし，この問題ではプールの幅は考えないものとし，円周率は3.14とします。

（１） Aくんの静水での速さは，分速何mですか。

AくんがP地点から時計回りに泳ぎ始めた15秒後に，BくんがP地点から反時計回りに泳ぎ始めました。

（２） Bくんが休むことなく一定の速さで泳いだとき，Q地点で初めてAくんと出会いました。このとき，Bくんの静水での速さは，分速何mですか。

（３） 今度はBくんは泳ぎ始めて少ししたところで，疲れてしまったため一回泳ぐのをやめ，少しの間水に浮いていました。それからまた，反時計回りに泳ぎ始めたところ，Aくんがちょうど３周するときに，Bくんは１周してP地点に戻ってくることができました。このとき，Bくんは何秒間泳ぐのをやめて浮いていましたか。ただし，Bくんの泳ぐ速さは(2)と同じであるとします。

問題文は長いですが、中学受験参考書にあるような「流水算」の問題です。

(1) P 地点から泳がず浮いていた場合，3 分で 1 周するので，

(水の速さ)=2×15×3.14÷3=分速 31.4m，

また，A くんは P 地点から時計周りに一定の速さで泳ぐと 1 分で 1 周するので

(A くんの速さ)+(水の速さ)=2×15×3.14÷1=分速 94.2m

より，(A くんの静水での速さ)=94.2−31.4=分速 62.8m

(2) Aくんは P~Q まで 3/4 分=45 秒より，B くんは P~Q まで 45-15=30 秒 かかるので，

(B くんの静水での速さ)-(水の速さ)=2×15×3.14×1/4 ÷1/2 =分速 47.1m

よって，(B の静水での速さ)=47.1+31.4=分速 78.5m

社会

・　全体を通して

社会科は、歴史・地理・公民の３分野から出題されます。各分野ともに、学習項目のなかから幅広く出題しますので、万遍なく学習することが大切となります。

本校社会科の入試問題の特徴は、2022 年度入試からは若干問題数を減らしましたが、それでも問題数は少なくありません。また、思考力を問う出題も少なくありませんので、解答を導くために時間を要する問題もあります。したがって、効率よく解答していくことが大切です。たとえば得意な分野から解答を始める、時間がかかりそうな問題は後回しにするなど、あらかじめ自分なりの解答のルールを決めておくと解答がスムーズに進められると思います。社会科の入試問題の傾向は、ここ数年大きくは変わっていませんので、過去の入試問題を参考にして、自分なりの解法をみつけだして実践してください。

社会科の３分野のなかでは、公民分野で差がつきやすい傾向にあります。これは、公民は最後の大問として出題されているため、最初から解き始めた受験生のなかには公民の解答を始めた段階で残り時間が限られている場合もあるのに加えて、小学校６年次の学習分野にあたるため、学習の定着が間に合わず成果をあげられにくい傾向にあり、また学習内容も制度や規定などが中心であり、歴史・地理などと比べて抽象的な内容も多いため、十分な理解におよびにくいこともその要因といえます。

本校の入試においては、歴史・地理・公民各分野にまたがる総合問題での出題はありませんが、文章や図・グラフ・写真などのいくつかの要素から判断して解答する問題も含まれています。また、他の分野の知識なども含めて考察する問題もあります。これらの問題を解く場合には、皆さんが日ごろから学習した理解度を基に、文章の読解力、資料への理解力や活用など、いろいろな能力を駆使する必要があります。この点についても、過去の入試問題を参考にして、どのように解答を導けばよいかを、あらかじめ理解し、いろいろなタイプの問題にも対応できるように準備しておきましょう。

また用語に関しても、その内容や意味まで理解しているかをはかる問題もあります。１つ１つの内容や用語の理解につとめる学習を心掛けてください。

・差のついた問題について

〈歴史〉　第１回　１　問４

問４　下線部③について述べた次の文のうち、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア）　平城京に都を移した聖武天皇は、藤原氏と協力して大宝律令を制定した。

イ）　室町幕府は惣村の掟（おきて）を細かく定め、年貢の納入などに責任を持たせた。

ウ）　江戸幕府は朝廷の動きを統制するため、公事方御定書を制定した。

エ）　GHQの指示により、治安維持法の廃止や政府を批判（ひはん）した者の釈放（しゃくほう）が行われた。

この問題は合格者の正解率は 68%ですが、合格者と不合格者の差が 14%と昨年度入試の１回目としては開きました。

正しい選択肢を１つ選ぶというオーソドックスな形式の出題ですが、この問題には合否間で正解率に差がつきやすいいくつかの理由があります。

１つ目は、時代を特定した問題ではなく、テーマ史の問題、この場合には法律の歴史に関わる問題です。テーマ史の場合にはいろいろな時代に関して正誤の判断をしなければいけないため、各時代の事象に関して正確に理解していないと正解を導けません。今回は法律の歴史でしたが、これ以外にも外国との関係を示す外交史・対外関係史や経済・産業にかかわる歴史、文化史などは差がつきやすいテーマ史なので、しっかりと理解を深めておくことが大切です。これらのテーマに関しては、各時代の歴史事象をしっかりと把握・理解しておく必要があります。

２点目は、江戸時代末期以降の近現代史の出題を含んでいるということです。近現代史の問題は、それ以前の時代の問題と比べて比較的正解率が低めで、差がつきやすい傾向にあります。この理由の 1 つは、この時代は小学校６年生での学習事項となることが多いため、学習が計画通り進まず、仕上がりが遅れる傾向にあるからです。他の理由としては、近現代史は、それ以前の時代の学習事項に比べて、社会の発展などによって内容が複雑になり、細部まで事象や流れを理解しなければいけないなど、深い学習が求められるという点です。そのため、江戸時代以前の歴史と比べても、近現代史は難しく感じるはずです。本校の入試では、第二次世界大戦後の現代史の問題も出題します。これらの点も踏まえて、近現代史も含めて早めに対策をたてることをおすすめします。

この他にも、今回はそれほど差が開きませんでしたが、第１回１問１や問 11、第２回１問 10 のように時代の並べ替えや順番を答える問題も、差がつきやすい出題形式です。本校の入試では西暦を答える問題は出題しませんが、歴史の流れは重視していますので、流れを把握する学習にもつとめてください。

〈地理〉　第２回　１　問２

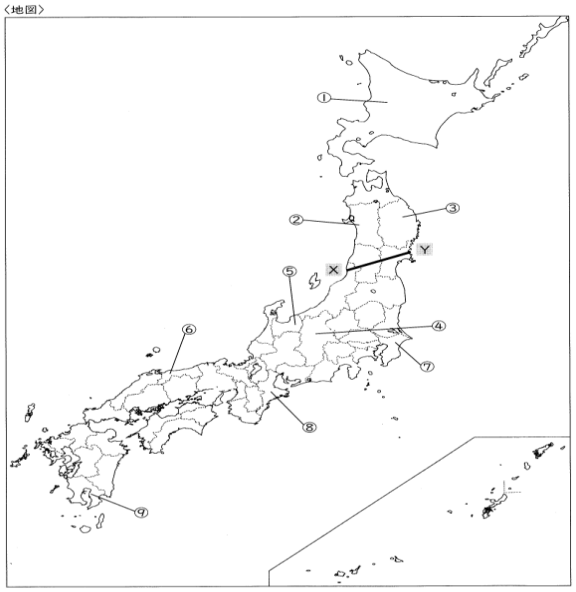
問２　次の〈表〉におけるＡからＤは、〈地図〉中の①から④の都道府県のいずれかの都道府県庁所在地の月別平均気温と降水量を示したものです。〈表〉中Ａにあてはまる都市名を**漢字**で答えなさい。

〈表〉　　上段…月平均気温(℃)、下段…月降水量(mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
A	-1.6 49.4	-0.9 48.0	2.6 82.1	8.7 85.4	14.5 106.5	18.8 109.4	22.4 197.5	23.5 185.4	19.3 151.7	12.6 108.7	6.2 85.6	0.8 70.2	10.6 1279.9
B	-0.4 54.6	0.4 49.1	4.3 60.1	10.6 56.9	16.4 69.3	20.4 106.1	24.3 137.7	25.4 111.8	21.0 125.5	14.4 100.3	7.9 44.4	2.3 49.4	12.3 965.1
C	-3.2 108.4	-2.7 91.9	1.1 77.6	7.3 54.6	13.0 55.5	17.0 60.4	21.1 90.7	22.3 126.8	18.6 142.2	12.1 109.9	5.2 113.8	-0.9 114.5	9.2 1146.1
D	0.4 118.9	0.8 98.5	4.0 99.5	9.6 109.9	15.2 125.0	19.6 122.9	23.4 197.0	25.0 184.6	21.0 161.0	14.5 175.5	8.3 189.1	2.8 159.8	12.1 1741.6

(『日本国勢図会(2023/2024)』より作成)

〈地図〉



合格者正答率 58%・不合格者正答率 38%で合否差が 20%と最も差のついた問題でした。都道府県・市町村の気温・降水量に関する問題です。各都道府県や市町村の気候を暗記するのではなく、各地方の気候の特徴をしっかりと理解する必要があります。今回は北海道、秋田県、岩手県、長野県の県庁所在地が出題されました。冬の気温はいずれの市町村も低く、単純な緯度の高さだけでは判断できません。この中で緯度が 1 番低い長野県を冬の気温が 1 番高い D と考えるのではなく、まずは全体を捉えましょう。

この中で 11 月から 2 月の降水量が最も多い D は日本海側の気候と判断できます。日本海側に位置する秋田県を D と判断しましょう。次に全年の降水量に着目しましょう。B は降水量がほかと比べて少なく、夏と冬の気温差が大きいことがわかります。このことから山脈が季節風をさえぎることで雨雲が少なく、温まりやすくて冷めやすい内陸と判断できます。よって B が長野県となります。残った A と C は冬の降水量と気温から判断できます。A は冬の降水量が少ないことから太平洋側の気候、C は気温が低いことから北海道と判断できます。よって今回問われている A は岩手県となり、答えは盛岡市となります。

このように市町村の気温や降水量を覚えるのではなく、緯度や山脈の位置を考え、答えを導けるように普段から勉強をしましょう。また、年によっては雨温図で出題されることもあります。グラフの読み取りもできるようにしておきましょう。

〈公民〉　…　第１回　３　問３

問３　下線部①に関する説明として、正しいものを次の文のうちから１つ選び、記号で答えなさい。

ア）　衆議院議員に立候補できる年齢と都道府県知事に立候補できる年齢は同じである。

イ）　日本で行われる比例代表選挙では必ず政党名を記載しなくてはならない。

ウ）　投票率を引き上げるため、投票に行かない人には罰金が科せられることになった。

エ）　インターネットやSNSを用いて選挙運動を行うことが認められている。

正答率が 76%と社会科全体の正答率よりも高い中で、合否差 15%と第１回入試社会科のなかで最も差がついた問題の一つです。正答率が高い中で合否差がついたということは、この問題は落としてはいけなかった問題だったということができると思います。同時に、この問題の合否差には、単に社会科の勉強をやりきることができたかどうかだけでなく、社会科の学習にのぞむ際の大切な学習姿勢の差が表れているように思われます。

この問題の正解は、エ）です。インターネットや SNS を用いた選挙運動が 2013 から解禁されたことは、多くの参考書で小さく取り上げられていますが、細かい内容のため、これが正文であること自体に確証を持てた受験生は多くなかったのではないかと思います。

そのため、この問題では、他の選択肢が誤文であることを判断できたかどうかが重要です。その際、ア）とイ）は社会科の学習内容として繰り返し説明されることがらであり、社会科の学習に意欲的に取り組んでいれば把握することができたと考えられます。一方で多くの受験生が判断に困ったのは、ウ）だったのではないかと思われます。投票に行かない人に罰金が科せられているか否かを説明してくれている参考書はあまりないでしょう。投票率が低いことは多くの受験生は把握しています。「投票率が低いことを踏まえれば、罰金が科せられることもあるかもしれないけど、最近本当に罰金が科せられたかどうか・・・」。この疑問に答えられるかどうかの鍵は、教科書・参考書を超えて、実際の世の中、社会の動きに目を向けられているかどうかでしょう。2025 年は７月に参議院選挙もありました。家族が投票する姿を見たこと、家族とそれについて話したこと、選挙についてのニュースを見たことがあれば、罰金という仕組みが本当にあるのかどうか判断の助けになったでしょう。また、参議院選挙の時期にインターネット画面に政党の広告が多く上がっていたことを思い出せれば、エ）が正答であることに確信を持つこともできたでしょう。

教科書・参考書の基本的な知識理解については、ある程度どの受験生も覚えてきます。そのうえで、ぎりぎりのところで差が付くのは、社会科を単に受験のための暗記科目とせずに、実際の社会の出来事に結び付けて考え、社会科の知識を土台に実際の社会に関心を向けられているかどうかです。ぜひ、そのような姿勢で学習に取り組んで欲しいと思います。

理科

・全体を通して

中学１，２回入試いずれも生物・地学・化学・物理の４題構成になっています。生物・地学・化学・物理がまんべんなく出題され、合格者平均の得点率は60%を超えることが多いです。よって、極端な苦手分野があるとボーダーラインに届きにくくなりますので、各分野バランスよく学習することが必要です。

・差のついた問題について

合格者と不合格者では、① 計算問題　② 実験操作の意味や実験結果の考察を問う問題（選択、記述）　で差がつくことが多いです。ボーダー付近では特に① 計算問題が合否に大きく影響しています。

1. ２段階以上にわたる計算問題やグラフや表から読み取った数値を用いて計算につなげる問題でとても差がついています。
2. 原理の説明や実験操作の意味、実験結果に関して考察させる問題は、一つ一つになぜそのような操作を行うのか、結果に対してなぜそのような考察を行うのかを日頃から意識して学習するとよいでしょう。今年度入試のように選択式で問われたり、指定字数以内（10～50 字程度）の記述が要求されたりします。

2026 年度入試で差がついた問題例【１】…　**① 計算問題 ＋ ② 実験結果の考察**

第１回入試より　３（４）

〔問題〕

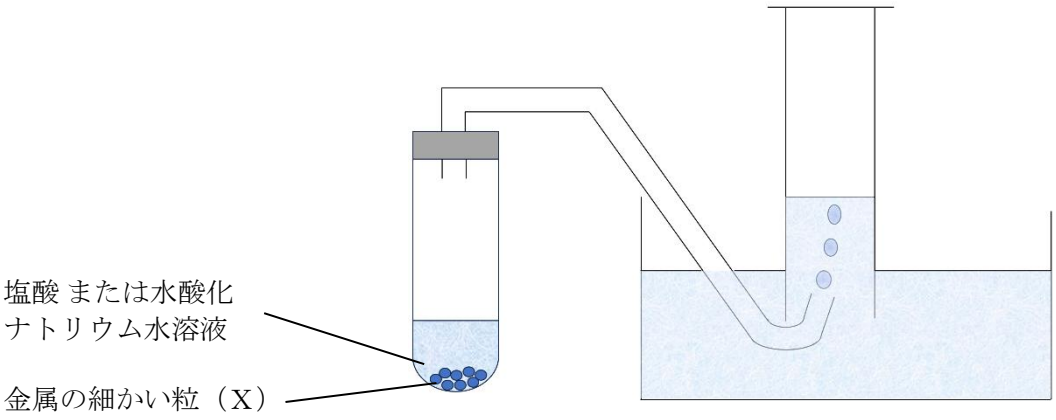
３　素材のわからない４種類の金属のかたまりＡ～Ｄがあります。これらは、金、アルミニウム、鉄、銅のいずれかであることはわかっています。

それぞれの性質を調べた結果は次のとおりです。

Ａは、持ってみると同じ大きさの他のかたまりよりもずっしりと重く、ハンマーでたたくと、非常に薄(うす)く広がりました。Ｂは、赤みのある茶色をしており、Ｃだけが磁石につきました。また、塩酸を数滴(てき)かけると、ＣとＤから気体の泡(あわ)が発生して、ＡとＢには変化は見られませんでした。水酸化ナトリウム水溶(よう)液を数滴かけると、Ｄから気体の泡が発生して、Ａ，Ｂ，Ｃには変化は見られませんでした。

金属Ｂ，Ｃ，Ｄの３種類が同じ大きさの細かい粒(つぶ)で、一定の割合で混ざっている物質Ｘがあります。Ｘに含(ふく)まれるそれぞれの金属の重さの割合を求めるために、次の実験を行いました。

Ｘを1.0ｇとって大きな試験管に入れ、反応するのに十分な量の塩酸または濃(こ)い水酸化ナトリウム水溶液を加えて、発生した気体の体積をはかったところ、塩酸を加えたときは、300ｃｍ^3、水酸化ナトリウム水溶液を加えたときは、200ｃｍ^{3}の気体が発生しました。



また、金属Ｂ，Ｃ，Ｄそれぞれについて、0.1ｇをとって、同様に塩酸や水酸化ナトリウム水溶液を加えたところ、以下の量の気体が発生しました。

	金属Ｂ	金属Ｃ	金属Ｄ
塩酸を加えたときに発生した気体の体積（ｃｍ^3）	0	40	133
水酸化ナトリウム水溶液を加えたときに発生した気体の体積（ｃｍ^3）	0	0	133

小問 (1)～(3)（省略）

(4)　物質Ｘ1.0ｇに含まれている金属Ｄの重さは何ｇですか。四捨五入して小数第 2 位まで答えなさい。

【解答】　0.15ｇ

【解説】複雑な計算問題の攻略には、金属ごとの化学的性質を「知識」として定着させ、表のデータと正確に結びつける訓練が不可欠です。「どの条件で、どの物質が反応しているのか」をまず整理する習慣が、正答への最短ルートとなります。

この問題の最大のポイントは、「水酸化ナトリウム水溶液と反応するのはアルミニウム（金属Ｄ）だけである」という性質に気づけるかどうかです。実験データから、金属Ｄは 0.1g につき 133㎤の気体を発生させることがわかります。物質Ｘ 1.0g に水酸化ナトリウムを加えた際に発生した 200㎤の気体は、すべてこの金属Ｄに由来するため、比例式「0.1g ： 133㎤ ＝ w g ： 200㎤」が成り立ちます。これを解くと $w = 20 \div 133 = 0.150\cdots$ となり、四捨五入して正解は **0.15g** です。複数の条件から必要なデータだけを正確に抜き出す「分析力」が、合格への大きな一歩となります。

2026 年度入試で差がついた問題例【２】　…　２段階以上にわたる計算問題

第１回入試より　４（５）

(5) 空気中を音が伝わる速さは、温度が変化すると速くなったり遅くなったりします。例えば 88m離れた壁に向かって太鼓を 1 秒間に 2 回の間隔で鳴らし続けたところ、直接聞く音と、壁で跳ね返ってきた音がちょうど重なって聞こえました。このとき音の伝わる速さは毎秒何ｍですか。

【解答】 毎秒 352 ｍ

【解説】1 秒間に 2 回鳴らし続けて直接聞く音と反射した音が重なって聞こえるので、太鼓を鳴らしてから壁で跳ね返るまでの時間が 1/2 秒になることが判る。音速は　速さ＝距離÷時間で求められるので、太鼓から壁までの往復距離 176ｍを 0.5 秒で割れば求められる。なお、この後の(６)は(５)が答えられないと計算できない問題のため、連動して差のつく１問となった。